

授業科目	高齢期作業療法治療学	3 学年・後期・2 単位 (60 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	坂上真理 (保健医療学研究棟 E510 号) e-mail : todo@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(播磨孝司)、(南部浩志)		
概要	評価実習で対象となった実際の事例をもとに評価結果の統合、目標設定、介入計画の検討を通して、個別事例の特性に応じた作業療法過程を学習する。事例に基づき高齢期作業療法の疾患・障害別の作業療法過程を理解する。高齢期作業療法において用いられる評価法の他に、目的ごとの介入法を学ぶ。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 提示された事例について必要な評価項目とその理由を説明できる。 2. 提示された事例について障害構造と目標を説明できる。 3. 提示された事例についてプログラムの立案ができる。 4. 高齢期作業療法に用いられる主要な介入法を説明できる。 5. 高齢期作業療法で対象となる疾患・障害の作業療法過程を説明できる。 		
関連科目	老年医学、作業療法評価学 1～2、日常生活適応学、高齢期作業療法学、作業療法理論と評価、臨床実習 3、総合臨床実習 1～3		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考 1. 提出物について：レポート並びにワークシートの記載内容、提出状況により評価する (30%)。 2. 学習態度：全体討議並びにグループワークへの参加状況により評価する (10%)。
	試験	60%	
	提出物	30%	
	学習態度	10%	
教科書	①松房利憲他編集 [2015 年・4,400 円] 「高齢期作業療法第 3 版」 医学書院		
参考書	①小川敬之、竹田徳則 [2016 年・5,170 円] 「認知症の作業療法第 2 版」 医歯薬出版 ②山田孝編集 [2016 年・4,180 円] 「高齢期障害領域の作業療法第 2 版」 中央法規 ③一般社団法人日本作業療法士協会編著 [2021 年・4,400 円] 「事例で学ぶ生活行為向上マネジメント第 2 版」 医歯薬出版 ④潮見泰蔵、下田信明編集 [2019 年・6,600 円] 「PT・OT ビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学第 2 版」 羊土社		
履修上の留意点	高齢者へのインタビューと観察の演習は介護老人保健施設で行い、演習要項は別冊に配布する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	評価実習の報告と討議 高齢期作業療法の評価と目標設定	事前：演習準備	演習・講義	坂上
2	評価実習の報告と討議 高齢期作業療法の評価と目標設定	事前：演習準備	〃	〃
3	評価実習の報告と討議 高齢期作業療法の評価と目標設定	事前：演習準備	〃	〃
4	評価実習の報告と討議 高齢期作業療法の評価と目標設定	事前：演習準備	〃	〃
5	グループワークによる評価実習事例の検討	事後：ワークシートと報告用資料を作成する。	演習	〃
6	グループワークによる評価実習事例の検討	事後：ワークシートと報告用資料を作成する。	〃	〃
7	各グループによる検討内容の報告	事前：報告用資料を作成する。	〃	〃

8	評価実習のまとめ ・事例のまとめ ・座位・立位のバランスと作業遂行	事後：ケースレポートを作成する。	〃	〃
9	高齢期とシーティング ・シーティングの演習	事後：感想文を作成する。	講義・演習	(播磨)
10	高齢期とシーティング ・シーティングの演習	事後：感想文を作成する。	〃	〃
11	高齢期と褥瘡管理 ・褥瘡評価の視点 ・体位変換の実技	事後：感想文を作成する。	〃	〃
12	高齢期とシーティング ・褥瘡評価の視点 ・体位変換の実技	事後：感想文を作成する。	〃	〃
13	生活行為向上マネジメントの演習 ・生活行為アセスメント演習シートの作成	事後：演習シートを完成する。	講義・演習	坂上
14	生活行為向上マネジメントの演習 ・生活行為向上プラン演習シートの作成	事後：演習シートを完成する。	演習	〃
15	高齢者へのインタビューと観察の演習準備	事前：演習準備 事後：ワークシートを作成する。	講義・演習	〃
16	高齢者へのインタビューと観察の演習準備	事前：演習準備 事後：ワークシートを作成する。	演習	〃
17	高齢者へのインタビューと観察の演習	事前：演習準備 事後：演習記録を整理する。	〃	〃
18	高齢者へのインタビューと観察の演習	事前：演習準備 事後：演習記録を整理する。	〃	〃
19	高齢者へのインタビューと観察の演習まとめ	事前：演習準備 事後：グループ・個人レポートを作成する。	〃	〃
20	高齢者へのインタビューと観察の演習まとめ	事前：演習準備 事後：グループ・個人レポートを作成する。	〃	〃
21	中枢神経障害を有する対象者への高齢期作業療法 ・臨床的作業療法評価の視点 ・作業療法介入の原理 ・治療的な活動の導入	事後：配布資料を復習する。	講義・演習	(南部)
22	中枢神経障害を有する対象者への高齢期作業療法 ・臨床的作業療法評価の視点 ・作業療法介入の原理 ・治療的な活動の導入	事後：配布資料を復習する。	〃	〃
23	認知症を有する対象者への高齢期作業療法 ・作業療法介入の原理 ・事例検討	事前：教科書 p130~145、p186~196 を読む。	〃	坂上
24	認知症を有する対象者への高齢期作業療法 ・非薬物療法とその演習 ・日常生活活動とその他の作業への介入	事前：教科書 p177~185、p197~207 を読む。	〃	〃
25	認知症を有する対象者への高齢期作業療法 ・観察評価とその演習	事前：指定資料を読む。 事後：ワークシートを完成する。	〃	〃

26	運動器系疾患を有する対象者への高齢期作業療法 ・作業療法評価の視点 ・作業療法介入の原理 ・転倒予防	事前：指定資料を読む。	〃	〃
27	老年期うつを有する対象者への作業療法 ・高齢者に対する心理的評価と介入 ・事例検討	事前：うつ病の基礎知識について復習する。	〃	〃
28	老年期うつを有する対象者への作業療法 ・高齢者に対する心理的評価と介入 ・事例検討	事前：うつ病の基礎知識について復習する。	〃	〃
29	終末期の作業療法 寝たきり状態にある対象者への高齢期作業療法 ・作業療法評価の視点 ・作業療法介入の原理 ・事例検討	事前：教科書 p208~214 を読む。	〃	坂上
30	高齢期作業療法の最新トピック ・高齢者と自動車運転、移動 ・高齢期の活動と休息のバランス ・高齢期領域の実践報告法	事前：指定資料を読む。 事後：ワークシートを完成する。	〃	〃